名古屋YMCA
みつかる。つながる。よくなっていく。
No.775 2022
YMCA News 4
2022年4月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日（月刊定価1部60円）
（購読料はYMCA会費に含まれています）
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村　隆
●編集人 中島成美

かりやYMCA保育園 4月開園

かりやYMCA保育園外観

2020年4月、刈谷市より認可保育所（重原本町地内）設置運営事業者募集要項が提示されました。予てより、三河地域でのYMCA活動の広がりを願っていた名古屋YMCAとしては、「青少年教育活動」の中心に「子育て支援」を据えることができる「保育園事業」を絶好の機会として捉え、応募することに決定いたしました。設置場所は、旧重原幼稚園跡地に駐車場スペースを加えた6,186㎡（約1,874坪）、定員135名以上の大規模保育園です。私たちの計画は、すべての保育室が園庭に面した木造平屋建ての園舎と駐車場、広いスペースの第２園庭を設け、子どもたちが思いっきり身体活動できるように配置したものです。

事業者の選定は2020年6月に一次審査があり、10月に3社に絞られた選定事業者によるプレゼンテーションが行われました。名古屋市内での幼稚園・保育園の実績、指定管理を受けている刈谷知立ウォータパレスKCでの活動、そして公益財団法人との連携による様々な子育て支援や災害支援活動が評価されYMCAが運営事業者に決定いたしました。正式には2021年3月の議会承認、4月の交付金内示決定を経てからの最終決定となります。その後、設計・管理事業者との正式契約、6月に建築確認申請、7月に建築事業者の入札を行い準備が進められていきます。建築に際しても、コロナ禍の影響により木材の伐採、運搬が圧迫、低金利・リモートワークによるアメリカ・中国での郊外住宅の需要増などにより「ウッドショック」と言われる現象がおき、木材価格が上昇。設備関係も半導体不足による品薄状態が続きました。

様々な課題を抱えながらも、8月20日に起工式が、南山教会村山牧師の司式で執り行われ建築がスタート。そして2022年3月19日に無事、竣工・献堂式を迎えることができました。私たちはこの計画を私たちの力で成し遂げようと錯覚し、時には不安を感じていましたが、起工式で村山牧師より「この計画は神様の計画であり、必要なものはすべて備えられる」と語っていただいたことが今日に繋がっているように思います。

4月1日、かりやYMCA保育園の最初の入園式が行われます。器は整えられました。これから私たちの活動がスタートします。不安一杯ではじめて保護者から離れる子どもたちを全身全霊で受け入れてくださる保育士の先生と共に、子どもの成長を願って美味しい食事を作ってくださる栄養士の先生と共に、かけがえのない大切な生命を信頼して預けていただく保護者の方と共に、子どもたちを一緒に見守ってくださる地域の方々と共に、私たちの保育園は多くの方に支えられて大海原に出航いたします。

「はっきり言っておく。心を入れ替えて子どものようにならなければ、決して天の国に入ることはできない。自分を低くして、この子どものようになる人が、天の国でいちばん偉いのだ。」

マタイによる福音書18章3～4節

（学校法人名古屋YMCA学園理事長　中村 隆）

献堂式での様子

献堂式は、司式者村山牧師により行われ、マタイによる福音書７章24節「家と土台」についてお話をいただきました。

東海ワイズメンズクラブより電子オルガンを寄贈いただきました。

南山ワイズメンズクラブより、園庭に時計を寄贈いただきました。

かりやYMCA保育園施設紹介

広い園庭では子どもたちが存分に動き回ることができ、子どもたち同士の豊かな遊びが発展していくでしょう。

太陽の光、季節を感じる風、木のぬくもりのあるテラスでは、子どもたちの五感を養います。

正面玄関近くに設置された絵本コーナーでは、保育者と子どもだけでなく、親子の絆を深められる空間となっています。

日の光が差し込み、広々とした保育室です。キャビネットで部屋を自由に仕切ることができ、無限にアレンジができます。

調理室と隣接した、年少児～年長児合同のランチルームです。調理師と保育士、共に食事を楽しむ食育の場となります

かりやYMCA保育園　職員一同

刈谷での地域活動の展望

刈谷知立ウォーターパレスを拠点として、三河地域にYMCA活動をスタートさせてこの4月で9年目となります。共同運営者と共にそれぞれの長所を活かし、地域の方々に親しんでいただける場として活動しています。

YMCAの働きは、体操・空手・野外活動を通して子どもたちの成長の場を担っています。開始当初は、１対１ではじまったクラスも今では多くの子どもたちが参加し、定員に達するまでとなりました。子どもたちは身体を動かすことが大好きで、幼稚園や学校が違うお友だちともすぐに仲良くなり楽しく活動しています。また、ここ数年は幼児や低学年から通い始めてくれた子どもが小学校を卒業し、中には中学生になっても継続し、自分の練習だけでなく他の子ども達にアドバイスをしてくれるなど立派に成長してくれていることを実感し嬉しく思います。

今後も多くの子どもたちの活動の場として、私たちの働きは求められます。子どもたちが自然豊かな中で伸び伸びと育つ地域。異年齢との関りなども大切にし、多くの子どもたちが集い、学び合う場として今後も自然を生かした野外プログラムの拡大や対象を広げるなど新しいチャレンジをしてまいります。YMCAだからこそできる活動を地域の皆様と共に歩んでいけるよう取り組んでいきます。

今までは三河地区1拠点での活動でしたが、4月からはかりやYMCA保育園が仲間に入ります。仲間が増えることで大きな力が生み出されます。求められていることに耳を傾け、より良い地域活動を目指し、三河エリアでのYMCAの活動を広く進めていきたいと思います。引き続きのご支援よろしくお願い致します。

（刈谷地域センター主任　谷口 みはる）

2022年度 年間聖句

日本同盟基督教団シティリジョイスチャーチ
牧師　榊原 康成

「主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。」

イザヤ書　40章31節

大切なYMCAの働きを進める上で、2022年のテーマとなり、YMCAに関わるすべての人に力を与え励ましとなる旧約聖書のイザヤ書のみことばを選びました。この聖句は、苦しい時代に預言者であるイザヤが神様から預かったみことばを、弱っている人々に向かって語ったみことばです。確信を持って人々を励ます言葉です。今、私たちは大変な時代に生きています。新型コロナ感染症は私たちの生活に大きく影響を与えています。生活をするにも消毒や換気にこれまで以上に気をつけなければなりません。楽しいはずの、人と集まる場面でも配慮が必要になります。集まることさえ控えなければならない日々が続いています。このような日々が続くと、私たちの身体と心は、自分では気がつかないうちに疲れてしまいます。そこには助けや励ましが必要になります。

YMCAは幼子から年を重ねた人に至るまでの一人ひとりを大切に思い活動を続けています。聖書の神様の愛がその根底にあります。新しい年度に当たり、その使命に真摯に取り組むにあたり、必要なものはなにかと祈り探りました。そしてそれを助けてくれる聖書のみことばを求めました。私たちは、今、大変な時代の中で使命感を持って大切な仕事をおこなっています。使命感を持って活動をしていても疲れてしまうことがあります。働きを、喜びをもっておこなっていても疲れてしまうことがあります。そんな時、私たちは自分の力だけでは先に進めないのです。

しかし、疲れてしまう自分がいて、その自分の弱さを認めることは大切です。弱さを認める時に、私を助け励ましてくださる方がいることを聖書は教えてくれます。31節は、鷲が大きな羽を広げて力強く高く上って行く様子に重ねて、神様の助けがあることを教えてくれます。自分だけの力で頑張るのではなく、弱さを知り認めた時に、私の外から新しい力が注がれ、私の心も励まされていくのです。

その力と励ましとは、神である主から届きます。主の助けを待ち望む人は、全能で疲れることがない神様がその人を愛し、その働きを助け導いてくださるのです。鷲が疲れることがないとか、飛べなくなることはないというのではありません。私たちは疲れつまずき倒れます。しかし、主を待ち望む者は、鷲が空高く上っていくときのように力を受け、慰めと励ましを受けてもう一度上っていくのです。鷲が上る姿はその象徴的な姿です。

まだ、苦しい日々が続くかも知れません。しかし新しい年度に向かって、私たちは主の力を受けて活動できるのです。主を待ち望んで使命を果たしましょう。

2021年度 リーダー感謝会

感謝会で感じたこと、これからの意気込み

暖かい春の日差しを感じ、桜のつぼみも膨らんできた3月、リーダー感謝会が行われました。沢山の時間を共に過ごしてきた4年生に、感謝の気持ちを伝えることができた１日となりました。

午前中は庄内緑地公園に行き、部会対抗で運動会を行いました。4年生の選手宣誓から始まり、しっぽ取りや借り物競争など、様々な競技を通して部会の絆も更に深まったことでしょう。午後の感謝会では4年生からの言葉、在リーダーによるお手紙を通して寂しさをひしひしと感じました。特にこの2年は、感染症による活動の制限がありましたが、リーダーとして子どもたちの為にと、歯車を止めることなく私たちの先頭に立って進み続けられた4年生の背中は大きく見えました。

感謝会の最後には、4年生主催のクイズ大会、そして在リーダーからの動画や歌のプレゼントです。歌のプレゼントでは、リーダーがフルートとピアノで伴奏をしてくれ、華やかな合唱になりました。準備は時間もかかり大変でしたが、それぞれが得意分野で力を発揮し、達成感を得られたのではないでしょうか。涙あり笑いありの、思い出深い1日でした。

4月からは新体制となり、また新たな1年が始まります。三役の書記のお仕事を通して会長を支え、同学年と共にリーダー会を盛り上げて行きます。また、新たな出会いに期待を膨らませ、活動の楽しさを共有して行きたいです。沢山の方のお力添えで私たちが活動できている感謝を胸に留め、リーダー達がYMCAを心地良い場所として楽しんで貰えるように励んで参ります。未熟ではありますが、名古屋YMCAの長い歴史の1ページになれることに誇りを持ち、努力を惜しみません。

（カフカリーダー　橋本 佳奈）

維持会員感謝・ご寄付感謝

維持会員（継続）（2022年3月1日～3月29日）

小林　純子　　深谷　　聡　　瀬口　昌久
武田　尚子　　義井　裕子　　山口　榮三

賛助会社(継続)　日本タスポニー協会

〈寄付金・募金〉

（ウクライナ緊急支援募金）

錦織　一郎　　深谷　　聡　　小澤　幸男
名古屋ワイズメンズクラブ　匿名有志（各館募金箱）

（名古屋YMCA創立120周年記念募金）

野村　秋博　　野村　靖子　　杉山　弘時
錦織　一郎　　浜崎　正三　　原　　寛

早天祈祷会

日時：4月5日（火）7：45～8：30
会場：名古屋YMCA5Fチャペル
奨励：村山盛芳牧師（日本基督教団南山教会）

ワイズコーナー４月例会の予定

名古屋	4月20日（水） 19：00～	卓話　『「つまらない人生」に「希望の志向」』 講師：高木友徳氏（犬山市ともこころのクリニック院長） ＊オープン参加可能	名古屋YMCA 5階チャペル （ZOOM併用）
名古屋東海	4月14日（木） 18：45～	卓話「民法改正と18歳成人」 講師：和田亘平氏（弁護士）	ラスースANN
名古屋南山	4月14日（木） 18：00～	協議　「今後の南山クラブ」	かりやYMCA 保育園 （予定）
名古屋グランパス	4月7日（木） 20：00～	出版記念卓話 「ほんとうのバリアフリー建築」 講師：阿部一雄 （メンバー、建築士）	オンライン 例会 （ZOOMのみ）

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと	052-823-2021
かりやYMCA保育園	0566-62-8227

https://nagoyaymca.org

名古屋YMCA使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2022年度聖句

「主に望みをおく人は新たな力を得
鷲のように翼を張って上る。」
（イザヤ書40章31節）